

釧路市国民健康保険データヘルス計画(簡易版)

【本計画における釧路市国保の基本的な考え方】

被保険者の健康保持増進に取り組むとともに医療費の伸びを抑制するため、本計画を策定するにあたり、これまでの医療・健診・介護の状況等について分析を行い、健康課題を把握しました。その結果に基づき、医療費が高額となり、さらに将来的に要介護状態となる可能性が高いと考えられる糖尿病性腎症による新規人工透析、脳血管疾患及び虚血性心疾患の患者数を減少させることを目標とし、最優先に取り組めます。この目標を達成するため、3つの重篤な疾患の共通リスク(基礎疾患)となる糖尿病、高血圧症、脂質異常症の発症や重症化予防に重点をおいた特定保健指導や重症化予防対策を強化します。

また、これら生活習慣病の発症や重症化の予防対策を推し進めるためには、特定健診を通じて被保険者に自分自身の健康状態を知っていただくことが重要となることから、特定健診受診率向上対策の強化についても取り組んでいくこととします。

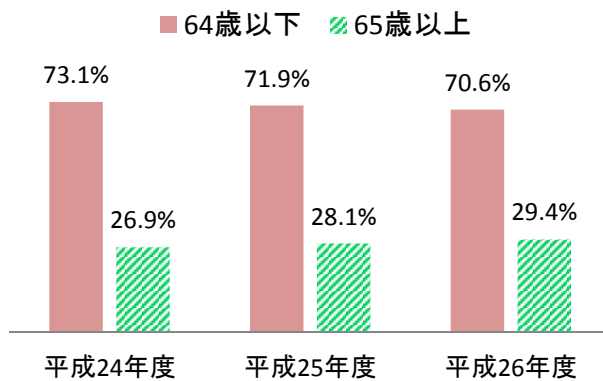
○本計画は、「健康くしろ21第2次計画」及び「釧路市国民健康保険第2期特定健康診査等実施計画」の指標を用いるなど、それぞれの計画との整合性を図ります。

○計画期間は、平成28年度～平成29年度(2年間)とします。

釧路市の地域特性・医療・健診・介護の状況を分析して把握した健康課題

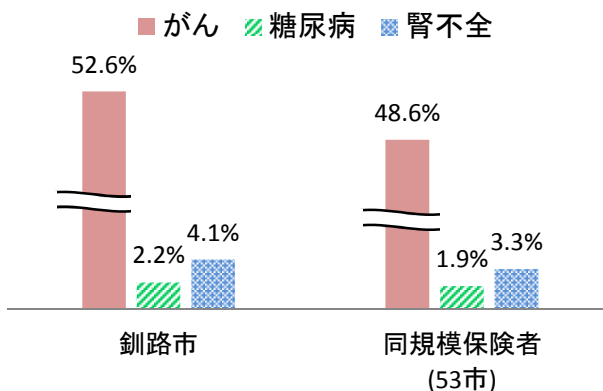
地域特性

釧路市の年齢別人口割合の推移



◆平成26年度末における釧路市の人口は177,102人、うち65歳以上の高齢者数が52,035人で、その高齢化率は29.4%となり、年々高齢化が進んでいます。このため、今後はさらに医療費等が増加することが考えられます。

平成25年度 疾患別死因の割合

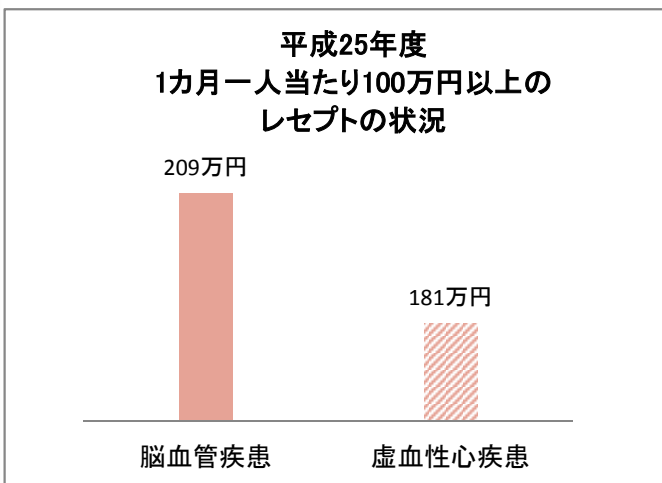


◆釧路市の疾患別死因の割合をみると、がんが702人で52.6%と最も高く、同規模保険者が48.6%となっています。また、糖尿病、腎不全の割合も同規模保険者と比較すると高い状況となっています。

1か月一人当たり医療費の推移

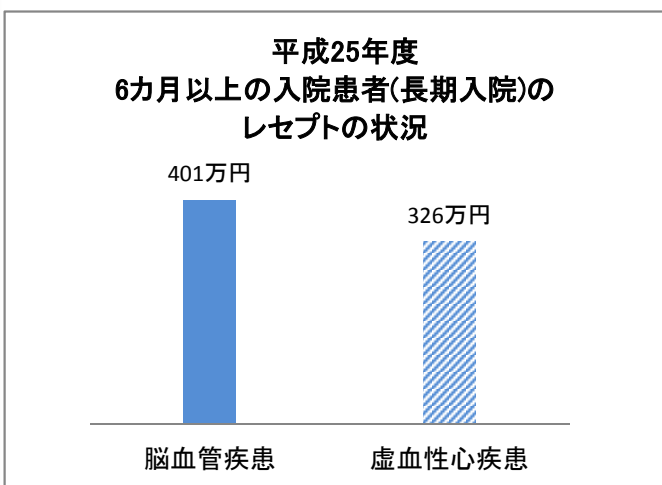
項目	平成24年度	平成25年度
釧路市国保	26,300円	27,503円
同規模保険者(53市)	21,833円	22,855円
北海道	25,475円	26,579円
全国	21,557円	22,779円

◆釧路市国保の1か月一人当たりの医療費をみると、平成24年度は26,300円、平成25年度は27,503円と上昇しています。この一人当たりの医療費を全国・北海道・同規模保険者と比較すると、いずれの年度も高い状況となっています。



釧路市国保が最優先に取り組む対象疾患としている脳血管疾患及び虚血性心疾患、糖尿病性腎症による人工透析の状況について説明します。

◆1か月当たり100万円以上の診療報酬明細書(レセプト)をみると、脳血管疾患209万円、虚血性心疾患181万円となっています。



6か月以上の入院患者のレセプトをみると、脳血管疾患401万円、虚血性心疾患326万円となっています。

いずれも一人当たりにかかる医療費が高額となり、これらを予防するためには、基礎疾患となる糖尿病、高血圧症、脂質異常症の発症予防及び早期の治療が重要であると考えられます。

◆人工透析患者の医療費をみると、96人で年間6億4,598万円となり、一人当たり年間673万円が必要となっています。また、人工透析患者のうち66人は基礎疾患に糖尿病があります。

平成25年度人工透析患者のレセプトの状況

項目		糖尿病性腎症
人数(5月診療分)	96人	66人
		68.8%
医療費(累計)	6億4,598万円	3億9,955万円
		61.9%

※糖尿病性腎症については人工透析患者のうち、基礎疾患に糖尿病の診断があるものを計上しています。

全国の人工透析導入要因の第1位は、糖尿病の合併症の一つである糖尿病性腎症です。人工透析による医療費の伸びを抑制するためには、糖尿病の重症化予防対策に取組み、新たな人工透析患者数を減らしていくことが重要であると考えられます。

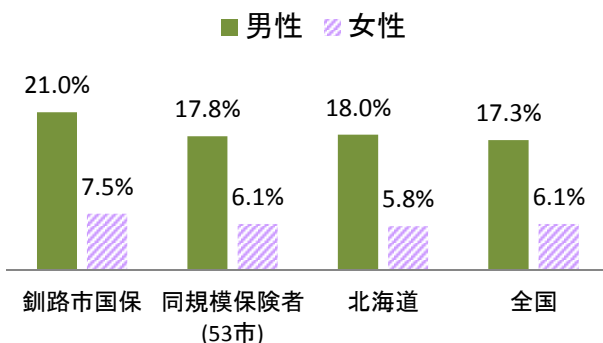
平成25年度特定健診受診率の状況

項 目	平成25年度
釧路市国保	17.5%
北海道	24.7%
全 国	34.2%

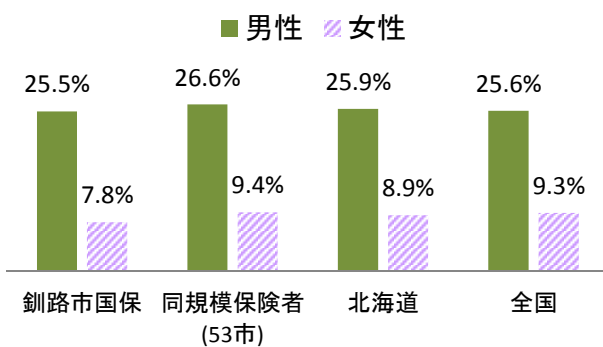
平成25年度特定健診未受診者の状況

年齢	特定健診未受診者	
	治療中	治療なし
40～64歳	6,502人	5,695人
65～74歳	11,101人	2,930人

平成25年度
メタボリックシンドローム予備群の状況

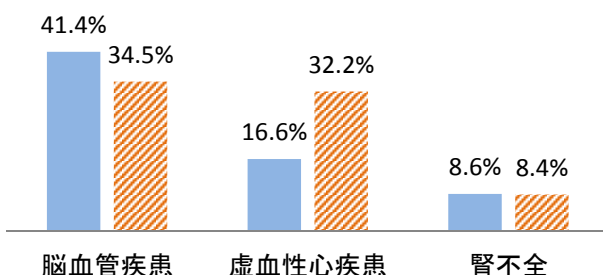


平成25年度
メタボリックシンドローム該当の状況



平成25年度 要介護認定者の有病状況

■ 第2号要介護認定者 (40～64歳) ▨ 第1号要介護認定者 (65歳以上)



◆釧路市国保の特定健診受診率は17.5%で、全国・北海道と比較すると低い状況となっています。また、特定健診未受診者で、かつ医療機関にも受診していないため自分の健康状態を把握できていない人が8,625人となっています。生活習慣病は重症化するまで自覚症状がないまま進行するため、特定健診の未受診者対策が必要となります。

釧路市国保の特定健診受診者のメタボリックシンドローム(メタボ)の状況について説明します。

◆メタボ予備群の割合をみると、男性21.0%、女性7.5%で、全国・北海道・同規模保険者と比較すると、いずれも高い状況となっています。

メタボ該当の割合をみると、男性25.5%、女性7.8%で、全国・北海道・同規模保険者と比較すると、いずれも低い状況となっています。

メタボ予備群の割合が高い状況となっていることから、今後メタボ該当となる可能性があり、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病に移行する人が増加することが考えられます。このため、保健指導や重症化予防対策のさらなる充実が必要であると考えられます。

◆釧路市の年齢別要介護認定者の有病状況をみると、第2号要介護認定者は脳血管疾患の人の割合が41.4%となり、第1号介護認定者の34.5%より高い状況となっています。脳血管疾患や虚血性心疾患などの疾病は要介護状態になる可能性が高い疾患でもあるため、生活習慣病の発症や重症化の予防対策を進めていくことが重要であり、介護予防にもつながるものと考えられます。

地域特性

医療

健診

介護

健康課題の明確化



釧路市国保の健康課題

- 特定健診受診率及び特定保健指導の実施率の向上を図る必要性があります。
- 糖尿病性腎症の新規人工透析患者を減少させるため、重症化予防対策のさらなる充実を図る必要性があります。
- 脳血管疾患、虚血性心疾患の発症を予防する必要性があります。

目的

釧路市国保の将来的な医療費の伸びを抑制するとともに、健康格差の縮小を図ることを目的としています。

成果目標

(1) 中長期的な目標

- ① 糖尿病性腎症による新規人工透析患者数の減少
- ② 脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合の減少

(2) 短期的な目標

- ① 特定健診受診率の向上
- ② 特定保健指導実施率の向上
- ③ 重症化予防対象者のHbA1cの改善割合の向上
- ④ 重症化予防対象者の血圧の改善割合の向上
- ⑤ 重症化予防対象者のLDLコレステロールの改善割合の向上

目的達成に向けた取組

- 特定健診未受診者に対する受診勧奨訪問の強化(特に受診率の低い40～50歳代)
- 診療情報提供受領事業を推進するための周知活動の強化
- 特定健診受診率向上に向けた周知の強化と被保険者へのインセンティブの検討
- 特定保健指導利用の勧奨電話及び未実施者への勧奨訪問の実施
- 訪問、電話などによる生活習慣病の重症化予防対策の強化
- 健康課題に対応した特定健診追加項目の検討